遊便プレイスクールゆうびん

(財)プレイスクール協会
雑創の森プレイスクール
TEL:0774-63-0951
福岡プレイスクール
TEL:092-761-0592

2019 2
(NO.450)

おにとやってみたい
あそびはなに?

おにたいじ

アホミイケイジバン

おにとやってみたいあそびはなに?

◎笑っちゃいます!!

・おにたいじ

●ようわかってるやん!!

・おにごっこ
・まめまき
・まめをなげあうこと

・たたかってみたい・
・オニにてっぽうみたいにマメをあててあそびたい

・けんか

・きょうだいごっこ
・ゆきあそび

・じゃんけん

・いっしょにおまめをいっぱいたべる
・ない・

次回(じかい)のお題(だい)は
「そつえんしきや そつぎょうしきで
してはいけないこと」
おたよりまってます!(ドクロポストへ)

わが子の言い分だけをうのみにしない

子どもは「あの子がこう言った」「幼稚園に行きたくない。」「そんなことやりたくない」などよく言います。

わが子を信じるのは当たり前ですし、子どもの話を聞いてあげることは大切です。ゆっくり事情も聴いてあげてほしいと思います。

子どもは口から出まかせではなく、感情の変化が大きいので、今の感情や状況をつい口に出してしまうことが多いことを分かってください。親がそれをうのみにして「行かないのね。」とか「じゃあやめるのね。」と行動を起こしてしまうと、子どもは後で「しまった。言わなければよかった。」と反省することもあります。

大人も子どもも、自分の立場で物事を理解し主張します。
子どもは自分中心の見方をしているので、なかなか客観的見方ができません。ですから、意図的に嘘を付くというのではなく、事実から外れて物事を捉えてしまっているということがあります。

いかなる場合でも、一方的に我が子の話だけを聞いてそれを全て“うのみにしてしまう”ということはないようにしてほしいものです。

子どもの話はちゃんと聞いて、「本当にそうなのか？」と冷静かつ客観的に考えることが必要です。
そして、子どもの意見をすべて受け入れるのではなく、「ここはもう少し我慢しよう。」とか「一緒に考えてみようか？」とか、心を強くしたり、自立するチャンスを与えてほしいですね。

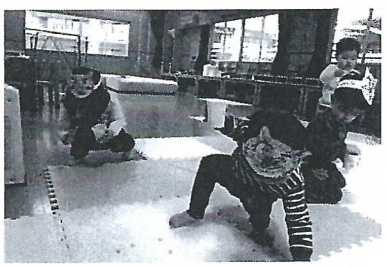
山本　直幸

ナースリークラス

◎「プレイボール」…　プラスチックバットで野球ごっこを何度かしたら、バットが目に入ると、「ね、しよう」と誰かが言うようになりました。「よし、じゃあしようかね」と私が言うと、いすを並び始める子が。打つのは順番ね、と待つ人はいすに座って見るというのを覚えた子が、ボール持ってこようとして、それを手伝う子、並べられたいすにもう自分で座る子、と、あまりの流れのよさにびっくりしてしまいます。今、打席に2人立つということはないんです。すごいです。で、「プレイボール」という言葉を覚えた。この声で始まり、バットに当たると走る→交代（バットも次の人に渡せる）→座って待つ。で、この野球もみんな1回か2回打てば満足して次のあそびにスッキリいって遊ぶのでした。

今年初め「七草がゆの会」から始まりました。書き初めをしよう。ということで、子どもたちの手形を絵具で色紙にペッタン、ペッタン。来年はあなたたちの手も一回り大きくなっていることでしょうね。

今月は節分、みんなでオニのお面を作って豆まきをしました。
撒く豆は炒っていない生の豆です。おやつ用の豆はまた別に違う美味しい豆を用意しました。撒くのは一瞬ですが、拾うのに時間がかります。子どもたちは、拾いごっこをいっぱい楽しんでいました。



幼児クラス

ゴールポスト

ちょびが、プレイルームにサッカーゴールを作ってくれたので、ボール遊びはサッカーが盛りあがっています。
サッカーを知らない子も一緒にするので、ゴールポストの中に3人も4人も入っていたり、どっちにボールをけるかわからなかったり、大笑いです。ちゃんとサッカーをやりたい子は、「ちがうって!!!」とおこっていましたが、みんなが理解できないので、プレイスクール ルールを作って楽しむことに……。しかし、その簡単なルールも、子ども達が自由に子ども達に甘〜〜いルールに変えて……子どもがシュートしたら「ゴール!!」大人だと「今のはなし。」など。ゴールキーパー以外の子がボールをさわると「子どもは グッドハンド OK ☺」「大人は No ハンド」という、勝手なルールがどんどんできて……もはやサッカーではない状態に。子ども達は敵味方関係なく徒党を組んで、「子どもチームの勝ち」「大人の負け」って。しばらくこの不公平ルールで遊ぶのですが、やっぱりつまらなくなり、サッカーのルール(幼児クラスルールですが)に戻って、再び試合開始。子ども達は顔を真っ赤にして、汗だくに……あれれ、半そでシャツやランニングシャツになっている子もいて、元気いっぱいで走りまわっていますよ。

エッコが

最近「エッコが裸になっている」という設定の追いかけごっこみたいのが流行っていて、エッコが、毛布や大きな布を巻きつけてにげるのを、子ども達が追かけて、その布を奪うと、「エッコが裸になっている」と大喜びするという、なんじゃこりゃ

と、いう遊びなんですが、奪いとった布をかくす係や、エッコがあやしい動きをしないかと、見張る係など、いつの間にか決まっていて、…その内全員参加になっています。おまけにゴールポストが牢屋になり、とじこめられたエッコに、紙に描いたカレーライスを差し入れてくれ、「おいしい㋡」と言うと、何人かの子が、また差し入れを描きにいくので、動きが止まり、私は楽なポジションになります。しかしそうなると、ゴールポストのあみ目から、侵入者が1人。別のコーナーからまた1人 …静かにニヤニヤ顔で狭い所をハイハイして入ってきます。最初していた裸になっているという罪は…なくなって、おばさんだからという罪に変りました。途中で、おやつの準備の為に、「少しぬける」とお願いしていた所に、ちょうど、ちょびがやってきて、そのまま牢屋に入れられてしまいました。とらわれたのがちょびに変ると、遊びも変わり、牢屋にお酒を差し入れて、よっぱらいになってもらい、そのよっぱらいがあばれないように子ども達がちょびの手や足をつかんでガードするという、これもなんじゃこりゃになりました。おやつの準備がすんだけど、エッコはちゃっかり子ども達の味方に加わり、ちょびよっぱらいをやっつける作戦を考える役に変りました。しかし、そろそろ、あきてきたので「屋上で、ドッチしない」との声にみんな、そろって、「やるやる」と階段をかけ上っていきました。あらららら … みんなけっこうあきていたのね。

ニ

小学生水曜日クラス

ちょび

ゴールポスト

「ねえ、サッカーをしようや。」「じゃあ、屋上に行こうか。」「ちがう、ここでしたいと。」「室内で？」「そう。」ということで、フワフワのマットをゴールにしてサッカーをしたらけっこう盛り上がり、その日は終わった。

「ゴールがあれば、もっともりあがるとにね。」「マットじゃだめと？わかったよ。じゃあ今度ゴール作ろうかね。」ということで、竹と角材を合わせて次の週にゴールを作ることにした。

「ちょっとそこを持ってて。」男の子たちが竹を持ってくれている間にビスを打ち込んで、竹を止めて行った。そのうち「ぼくがこっちを持ってあげる。」と、それで遊べるのが待ち遠しいのだろう、協力的になってきた。

ところがなんせ、竹と細目の角材で作っているのでちょっと弱く、雑に扱うと、「メキッ！」っと変な音がして、ネジが外れたりするのだった。

「ま、それはそれとして愛嬌ということで、またネジで止め直せばいいよ。」と言いながら、サーッカーゴールポストの骨組みは出来上がった。

それに女の子たちがネットをゴールポストにビニールテープで留めてくれた。手づくり満載の味アンチックな小さめのゴールポストの出来上がり。

それを初めて見た子は、「やったー！ゴールがあるやん。サッカーしよう！」と嬉しそうにサッカーするのだった。

それからは毎日のように、小学生が使ったり、幼児が使ったりと、ひ弱なゴールポストは現在けっこう活躍している。

今アジア杯などもやっているので、（これを出すころにはもう優勝が決まっていると思うが、）ますます引っ張りだこになりそうなゴールポストだ。

焼肉&すき焼き夕食会

1 月の夕食会は焼肉とすき焼きをつつきながらの夕食会だった。最近よくやっているサッカーごっこでひとしきり遊んだあとに夕食会が始まった。各自好きな具材を持ってきての夕食会。焼肉が好きな人は、各自持ってきた肉や野菜などをホットプレートで焼き焼きした。すき焼きが好きな子は、鍋に各自持ってきた牛肉や大根、白菜、糸ごんにゃくなどを投入して味付け、ご飯と一緒にかきこみ、うどんやチャーハンも食べて、「うー、はらいっぱい！ごもう食えん、ちそうさま。」と、の楽しみの夕食会を終えたのだった。

小学生　月2回クラス

○新しい年を迎え、1回めの活動は『弓矢を作ってあそぼう』でもその前に、みんな体を動かしたくて(暴れたくて、が近いかな!?)たまらない感じだったので、部屋ドッヂ(ボール)をして体と気持ちがポカポカいや、アッアツになってから作り始めました。2人1組になり、竹を切ってから、なたで割りました。なたは使い方と注意することを伝えると、みんなちゃんと、真剣に使い、パーンと割れると、「おーっ」と、うれしそうでした。「もう1回やっていい?」と何回もやる子もいました。ナイフで削って、反りをいれて、たこ糸を結んで…。このたこ糸のはじを固結びするのに、みんな苦戦…o!「この輪っかの中にこの端を入れて」と、固結びの練習も一生けん命。やっと弓の形ができると、早く打ちたくなって「次は?どれ?」とスピード感も増して、矢を作り、さあ打つぞ!!今回は矢の先に吸盤をつけ、窓にくっつくタイプのもの。真っ直ぐ飛ぶとパーンと音をたて矢がくっつくのですが、コツをつかむまでにあきらめてしまいそう…になる前に何度か練習。覚えてしまうとニッコリいい笑顔になり、みんなで横一列に並び「せーの」で一気に矢を放つとこれが楽しい!!うっかり高い位置に矢がくっついてしまった時は、背の高い3年生が「ほいほーい」と快くとってくれるので、安心して!?高い所めざして打ったりしていました。

○1月の2回めは、パンづくり。生地からこねました。一次発酵している間は屋上でドッヂボール。するとこの日は雪が舞ってきて、さらにテンション↗発酵後のほんわか生地に、それぞれ持ち寄った具材をいれて、焼いている間にまたドッヂボールへ。力がいい感じで同じくらいなので、勝負もどちらが勝ったかわからず、盛りあがるのです。そして、焼きたてパンをおしゃべりしながら食べました。

忍者クラブ

今回も忍者クラブができました!! やりたいことをそれぞれ紙に書いてもらうことにしたのですが、パパパーッと書いたら、「ね、あそんできていい?」…その言葉を聞くと、ほかのみんなもソワソワしてきたので、まぁ、おいおいみんなの様子や声をきいていけばいいかと、そこそこできりあげて、始動!! 1回めは、「なんか投げたい。」とのことだったので、それではと水ふうせんを。さすがにこの季節なので、人には投げないとのルールを決め、1階でせっせと作り始めました。その間に1人の子は「基地を作りたい」とのことだったので、この日あそびにきていた19才の男の子(たーぞりーからきていたOB)と一緒に階段のスペースで毛布などを運びこみ製作開始。水ふうせんを屋上で投げて割ろうとしたけれど、忍者クラブなので、道具も使うことにして、ふつうの風船も矢で割ることにしました。風船めがけ矢を放つのですが、当たってもビヨーンとはね返されてしまいます。「割れんねー」「矢がもっと尖ってたらいいっちゃない?」「釘は?」「ちょっと危ない…」「つまようじは?」「おー、いいねー」と、矢の先につまようじをつけ、ビュンっ3みんなの注目を集めた子の矢は、風船にかすりもせず、大笑い みんなもそれぞれやってみましたが、風が吹くと風船が揺れ、かなり難しい…!? でもやっぱり割りたいので、何度もやって、ついにパーンっ3「おっ」と思わず(そして)みんなで「近っ!!」風船の何cm離れた?くらいの距離から射ったいて…。それでも割れたのはうらやましかったようで、右のならへとみんな割り始めたのでした。これは、ぜんぜん修業になりませんね。それから水ふうせんもぜーんぶ割って、基地にもおジャマして楽しい修業(!?)となりました。さあ、今後も楽しみですよっ>

スポーツクラブ

まさし

年が明けて、クラブ決めがあり、今回もめでたく！？スポーツクラブは存続となりました。できれば、場所や活動内容を少しずつ変えていけたらなぁと思うけど、子どもたちは相変わらず「赤坂公園！」「野球！」。さて、どうなるかな

○　最初の活動は、子どもたちのやりたいことを中心にということで赤坂公園に行きました。が、先客がいたので、いつものグランドではなく、横の場所で遊ぶことにしました。始めは「えー」と言っていましたが、すぐ切り替えて、けいどろしたい！」となったので、けいどろから始めることに。横の場所は、木が生い茂って起伏があり、鬼ごっこには最適です。警察と泥棒に分かれて、スタート。みんな、フィールドを上手に使って、思いきり走り回って楽しんでいました。

その後、サッカー、野球といつもの流れで遊びましたが、いつもとちょっと違う雰囲気の中での活動だったので、子どもたちも新鮮だったようで、場所の選択肢が１つ増えた感じでした。

○ この日は、かなりの冷え込み。予報では雪も降るとのこと。午前中に雪もちらちら舞ってましたが、昼から日差しも差してきて外で活動できるかなって感じでした。子どもたちに聞くともちろん出かけるとのこと（一人、寒いから部屋がと言ってた子もいたが・・・）。何かあってもいいように、近場の赤坂公園にしました。この日は寒さのためか、先客もおらずに貸し切り状態でした。

ついてすぐ、いつものようにノックやサッカーをし始めて、寒い中でも少しずつ体が温まってきました。上着を脱ぐ子も出てきてウォーミングアップも万端。チーム分けをして、最初にサッカーから始めました。が、ほどなくして雪がチラチラ。最初は喜んでいた子供たち。しかし、次第に雪の降り方が激しくなり、更に雷が鳴り始めたころには、みんな「これ、大丈夫なん？」の空気が流れた。みるみる地面もびちょびちょになり、一旦雨宿りならぬ雪宿り。しかし、やむ気配もなく、結果プレイに帰って遊ぶ決断になった。みんなも寒さでかじかんでいたので、一目散でプレイに戻り、暖房のきいた部屋で生き返りました。外を見ると雪がふぶいていて、「戻ってきてよかったねー」と真っ赤な顔で見合わせました。

自転車クラブ

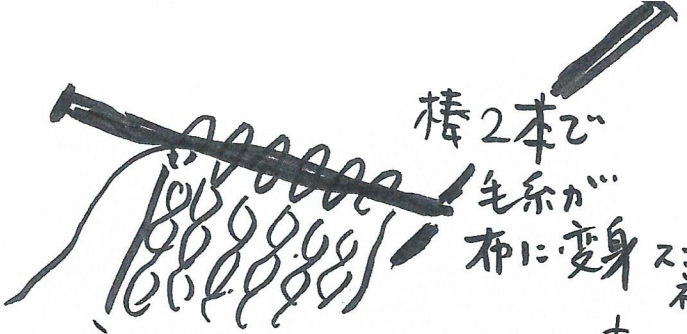
けんた

1月になって、恒例のクラブ決めが行われた。
今回から3年生も入ることが出来るようになってメンバーも少し変わってのスタートとなった。まず、クラブで行きたい場所やしたいことを聞いてみた。

・合宿　・大濠公園　・マークイズ　・科学館　・百道浜　・小笹中央公園　・福岡タワー
・防災センター　・アイランドシティ中央公園　・亀釣り　・大金持ちになる　などなど

それぞれ書いてもらってから、大濠公園まで行くことにした。
4年生は今日が初めてだったので、集団で走る時の注意点や交通ルールを確認してから出発した。
出発してすぐは寒かったものの、自転車を漕いでいるとだんだん体があたたまっていった。
そのまま大濠公園を1周回った頃には、上着を脱いで遊ぶほど暑くなっていた。
くじら公園に自転車を止めて鬼ごっこをした。おにを決めて60秒数えてよーいスタート!!
鬼の人は手袋をつけるというルールでやっていたのだけれども、10分位やっているとなぜか手袋をつけている人が増えている？状態になったので、一旦ストップをかけて集合してルールを確認してみる。すると、変わり鬼（タッチされると鬼を交代する）、と言う人と普段鬼ごっこで遊んでいる人で変わり鬼と言ったのを、増え鬼(タッチされると鬼が増えていく)のことだと勘違いしていた人がいて、鬼の数が変わっているとの事だった。
原因が判明したら、次は宝探し鬼ごっこをやろうとなった。ルールは鬼が宝（ボール）を隠して、逃げる人が探して見つけたら勝ち、鬼が全員捕まえたら鬼の勝ち、捕まった人はその場で止まり仲間がタッチしたら復活するというルールで行った。
鬼は、自分が鬼をやって隠し場所を探していると、なんか視線を感じるので振り返ってみると、遊具の隙間からこっそり覗いていたり、他の人に紛れてこっちをみていたり、隠しながらみている人は居ないかという戦いもありながらなんとか隠し終わって、スタートしましたが、ボールを見つけられて負けてしまった。
最後にくじら公園の上の広場で、当て鬼（ボールを当てて当たったら交代）やなか当てなどをして帰ったのだった。

手芸クラブ



棒2本で毛糸が布に変身 スゴイネ

1月から、手芸クラブは、エッコに変りました。みんなにどんな事したい、作りたいと聞くと、ハタオリ、アミモノ、人形作り。まずは、ここにある材料で作り始めてね。と言うと、作りかけの軍手人形を出してきたり、いつもの様に軍手のゴムを切って人形作りの準備をしたり、ハタオリをしている子もさっさと、作業を始めていました。編みものを覚えたい子には、編みものマシーン を使って、教えることにしました。しかし 簡単なはずの編みものマシーンが、なかなか要領が得られず、編み進まないので、思い切って、棒編みを教えることにしました。編みものマシーンよりは、難しいけれど、エッコ流の足に手伝ってもらう作戦で、なんとか覚えることができました。慣れてくると、棒を2本上手に使ってさっさか編んでいましたよ。

手芸で根をつめると痛めるので、子ども達は適当に、走りまわったり おにごっこ をしたり、して息ぬきをします。でも即効性があるのは ブドウ糖とか キャンディだそうです、チョコもOKとか… 本当かな？

棒あみ 左の棒を、足ではさんで助けてもらう、左の棒から右の棒へ、移動する時、

① ぶすっとさして
② くるっとまいて
③ こんにちわ、
④ バイバイ

で1目編めます。最初は、これを口に出している内に上手に編める様になりました。あくまでもエッコ流です。

えっこ

子どもっておもしろい!!

直滑猛進

ざざざざぁ、ずずずずぅぅぅぅ！「ひいえぇぇぇっ！やっほぉぉぉっ！」

雪を蹴散らす音をたてながら子どもたちがゲレンデの下に向かって真っすぐに滑っていく。いや、滑っているというよりは落ちていくという方が正確かも知れない。曲がろうなどとはこれっぽっちも考えず、ただひたすらスキーをハの字にして突き進んでいくのだ。その姿は、緩斜面で突然意味もなくジャンプしてすっ転び二ヤけているボーダーなどとは比較にならないくらい潔い。とても昨日生まれて初めてスキーを履いたとは思えないほどの上達ぶりだ。

今年も子どもたちと家族組が乗り合わせてスキーツアーに行って来た。雪は少ないものの山頂からのコースも滑れ、何よりもお天気に恵まれたよい条件となった。幼稚園の年中さんから小学校低学年まで、まったくの初心者もたくさん参加してくれたが、みんなそれなりに滑れるようになって帰ってくれた。何よりレッスンが手厚いのだ。初心者なら２、３名にひとりのインストラクターがついてくれ、とにかく丁寧に教えてくれる。しかもほとんど褒め殺しでスキーの楽しさだけを伝えてくれるので、図に乗った子どもたちは「あれ？オレってうまいんちゃうん！」とますます調子に乗って滑れるようになってしまうわけだ。おかげでその日のうちに長いリフトに乗って山頂から滑り降りられるほどになってしまうのだ。教える方もスゴイが、滑れるようになってしまう子どもはもっとスゴイ！

２日目も朝からみっちりレッスンをして、午後からはフリー滑走、文頭の様子はそのときのものだ。レッスンも終わって好きに滑っていいとなると子どもたちの目の色が変わる。レッスンでは曲がる練習などもしていたが、とにかく滑ることが楽しくて仕方がないので面倒くさいターンなどせずに真っすぐに滑り落ちていくわけなのだ。

社会学者のロジェ・カイヨワによれば、遊びは「模擬」「偶然・運」「めまい」「競争」の４つに分類することができるという。そのスピードに身を任すスキーは、ジェットコースターやブランコなどと同じ「めまい」の範疇といえよう。それは「脱・意志」であり「脱・ルール」が生み出す遊びでもある。自分でスキーをコントロールできるかできないかのギリギリのところで、広いゲレンデを自由に滑れることが楽しくて仕方ないのはこんな原理によるのかも知れない。きっと滑っている子どもたちの頭の中には快楽物質ドーパミンが出まくっていることだろう。

まるでこまねずみの様に滑ってはリフトに乗ってまた滑ってはリフトで上がるを繰り返し、さすがに子どもたちも疲れたのだろう、帰りのバスの中ではぐったりしていた。「脚が痛いぃぃっ！」「頑張りすぎて、身いいったんか」「みぃいる…？」「あぁ、これ関西弁で筋肉痛ってことや」「ふう〜ん」もっとも子どもたちの回復力の速さなら、一晩寝て明日にはもうピンピンしているに違いない。子どもにつきあって滑っていたこちらもなかなかの疲労度だ。それが一番わかるのがバスの休憩時間にバスからタラップを降りるときの太ももの辛さ！　でも本当の地獄は明日か明後日にやってくるんだろうなぁ！　あぁ加齢猛進、反応遅進…

（京都・雑創の森プレイスクール　福山記）

福岡プレイスクール 2019 年　2 月度予定表

日	月	火	水	木	金	土
					1 ナースリー 幼児	2 小学生　午前クラス 小学生　午後クラブ
3 	4 	5 ナースリー 幼児	6 小学生	7 ナースリー 幼児	8 ナースリー 幼児	9 雪遊び ←
10 雪遊び　広島やわたハイランド 191 →	11	12 ナースリー 幼児	13 小学生	14 ナースリー 幼児	15 ナースリー 幼児	16 小学生　午後クラブ
17 小学生午後クラス 2 月 9 日の振替日	18 	19 ナースリー 幼児 アイススケート	20 小学生	21 ナースリー 幼児	22 ナースリー 「親子でプレイスクール」 幼児	23 小学生 午前クラス 小学生　午後クラブ
24 かるがもクラブ	25 	26 ナースリー 幼児	27 小学生 アイススケート	28 ナースリー 幼児		

◎雪遊び　　2 月 9 日(土)～11 日(月)　　「広島県山県郡　やわたハイランド 191」
◎小学生午後クラス 2 月 17 日(日)10:00～12:30 「2 月 9 日(土)の振替日」
◎ナースリークラス 2 月 22 日(金)　　「親子でプレイスクール」
◎かるがもクラブ　2 月 24 日(日)　　「手づくりソーセジ＆燻製作り」
◎小学生水曜日クラス 2 月 27 日(水)　　「アイススケート」

3/1～2　幼児おとまり会
2月は図書の入れかえです
2/20までに返却おねがいします